

秋冬ダイコンにおける有望品種の検討

1 目的

8月下旬～9月中旬播種の作型に適した品種について検討する。

2 方法

- 1) 供試品種 ‘福誉’ ‘MKS-R844’ ‘青誉’ (みかど協和)
 ‘耐病新総太’ (福種)
 ‘T770’ (タキイ)

2) 試験区

播種日	供試品種	収穫調査日	播種後日
8月26日	T770(標準)	1月1日	5日
	福誉		
	MKS-R844		
9月7日	耐病新総太(標準)	1月1日	5日
	T-770		
	福誉		
9月14日	MKS-R844	1月1日	6日
	耐病新総太(標準)		
	T-770		
	青誉		

3) 施肥量

肥料名	施肥量(kg/10a)
セルカ	120
重焼ン	40
FTE	6
あさひ	60
そさひ号(追肥※)	40

※ 成分量 N:16.4 P:22.0 K:12.8 (kg/10a)

追肥は2回にわけて施肥
 作付はスイカの後作圃場

4) 栽植密度および播種方法

畦幅 130cm、天幅 90cm、条間 58cm、株間 30cm、2条ちどり手播き
 5130株/10a

3 結果の概要

－8月26日播種－

- 1) 根長は‘MKS844’が最も長く、‘T770’、‘福誉’は同等であった。つまりも‘MKS844’が最もよかった(表1)。
 2) 秀品率では、‘T770’が92%と最も高かった。‘福誉’は烈根、‘MKS844’は曲り(程度微)が見られた(表1)。

－9月7日播種－

- 1) 根長は‘耐病新総太’が最も長く、次いで‘福誉’が長かった。つまりでは、‘T770’、‘福誉’、‘MKS844’が、‘耐病新総太’よりも良かった(表2)。
 2) 秀品率では‘耐病新総太’が83%と最も高かったが、他品種と大きな差は見られなかった(表2)。

－9月14日播種－

- 1) 根長は‘耐病新総太’、‘青誉’が‘T770’よりも長く、‘T770’は30.8cmと短根であった(表3)。
 2) 秀品率は‘耐病新総太’が最も高く、‘青誉’はつまりが悪く、秀品率は25%であった(表3)。

以上の結果から、8月下旬播種では、根長が長く、つまりが良い‘MKS-R844’や、秀品率が高い‘T770’、9月上旬播種では根長が長い‘耐病新総太’や、つまりの良い‘T770’、9月中旬播種では、根長が長くつまりが良い‘耐病新総太’が有望品種であると考えられる。次年度以降も引き続き検討する必要がある。

[具体的データ]

表1 8月26日播種ダイコン 収穫調査(播種後53日)

品種名	全長 (cm)	根長 (cm)	根径(上) (cm)	根径(下) (cm)	全重 (g)	根重 (g)	秀品率 (%)	備考
T770(標準)	68.6	33.0	7.0	6.5	1,235	1,039	92	
福誉	66.7	33.3	7.0	6.1	1,161	1,007	58	裂根
MKS-R844	70.1	35.4	7.1	6.6	1,370	1,166	75	曲り(微)

表2 9月7日播種ダイコン 収穫調査(播種後54日)

品種名	全長 (cm)	根長 (cm)	根径(上) (cm)	根径(下) (cm)	全重 (g)	根重 (g)	秀品率 (%)	備考
耐病新総太(標準)	80.9	38.6	7.3	5.5	1,617	1,259	83	
T770	74.0	33.0	7.0	6.2	1,323	1,062	75	短根
福誉	69.4	34.4	6.8	6.0	1,282	1,063	67	曲り
MKS-R844	72.2	33.7	7.2	6.2	1,441	1,174	75	曲り

表3 9月14日播種ダイコン 収穫調査(播種後62日)

品種名	全長 (cm)	根長 (cm)	根径(上) (cm)	根径(下) (cm)	全重 (g)	根重 (g)	秀品率 (%)	備考
耐病新総太(標準)	74.1	35.7	7.2	5.8	1,328	1,124	75	曲り、先細
T770	66.8	30.8	6.7	5.4	993	825	8	短根
青誉	72.7	36.2	7.2	5.4	1,272	1,090	25	先細

[8月26日播種]



T770



福誉



MKS-R844

[9月7日播種]



耐病新総太



T770



福誉



MKS-R844

[9月14日播種]



耐病新総太



T770



青誉